

# NPGT\_S series

薄型2爪平行グリッパスケール仕様

『スケール内蔵タイプで

ワーク把持部の測定が可能に』

【特徴】

● “精密測定”で不良品を判別

→ 測定誤差±2μm以内 ※社内テスト結果

● 搬送と同時に寸法測定が可能

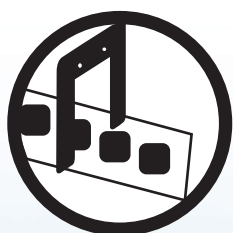
→ 工程内全数検査をこれ1台で行える

● 数値データを払出可能

→ 測定データをパソコンなどで管理



不良品判別



全数検査



データ管理



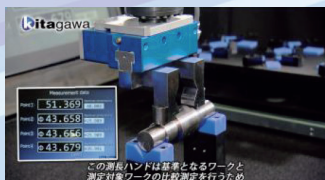
コストダウン

【仕様表】

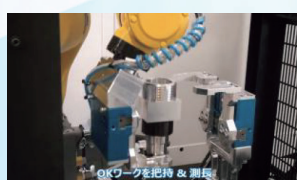
	NPGT08S	NPGT10S	NPGT12S	NPGT16S
把持力 (0.6MPa、外径把持)	600N	1,000N	2,000N	2,700N
ジョーストローク (直径)	16.6mm	20.8mm	26.4mm	32.6mm
使用空圧力	0.2~0.8MPa			
質量	0.79kg	1.25kg	2.45kg	4.54kg

製品動画

概要紹介動画



実演動画

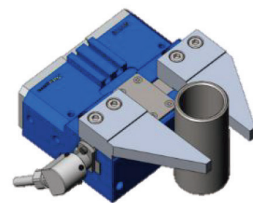


# ① “精密測定”で不良品を判別

従来から把持時に測定できるハンドは存在しましたが、間接的に数値化していたため、精密な測定はできませんでした。

しかし、NPGT\_Sシリーズではスケールを内蔵することによって、直接ジョーの開閉移動量を測定でき、外径把持時の測定誤差が±2μm以内という高精度で測定することができます。(社内テストに基づく)

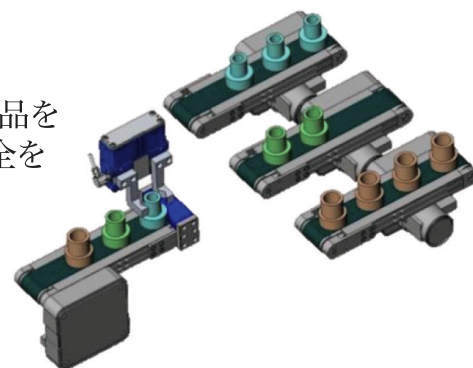
このことより、加工不良による不良品の判別や極微小な異物の有無確認を可能にします。



# ② 工程内全数検査が可能

従来、搬送は搬送・検査は検査と工程が分かれていたためすべての製品を検査することはコストと時間がかかるために抜き取り検査などで品質保全を行ってきました。

しかし、測長ハンドを使用することで搬送と同時に測定を行うため、すべての製品を検査して不良品・異常品を取り除くことにより、当該ロットの品質を安定させることが出来ます。

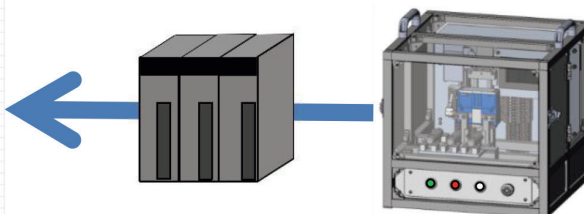


# ③ 測定データをすべて管理

従来は検査結果を人が手書きで記録・手入力などでデータ管理を行っていました。しかし、NPGT\_Sシリーズを使えば、カウンターを介して数値データを処理しているため、測定データをパソコンなどに取り込むことによりワーク情報の管理が可能です。

シャフト測定記録

	Work 1	Work 2	Work 3	Work 1	Work 2	Work 3
1	25.000	25.001	24.972	15	25.000	24.972
2	25.000	25.001	24.973	16	25.000	24.973
3	25.000	25.001	24.972	17	25.000	24.972
4	25.000	25.001	24.972	18	25.000	24.972
5	25.000	25.001	24.973	19	25.000	24.973
6	25.000	25.000	24.972	20	25.000	24.972
7	25.000	25.000	24.972	21	25.000	24.972
8	25.000	25.001	24.973	22	25.000	24.973
9	25.000	25.000	24.972	23	25.000	24.972
10	25.000	25.001	24.973	24	25.000	24.973
11	25.000	25.000	24.972	25	25.000	24.972
12	25.000	25.001	24.973	26	25.000	24.973
13	25.000	25.000	24.972	27	25.000	24.972
14	25.000	25.001	24.973	28	25.000	24.973
15	25.000	25.000	24.972	29	25.000	24.972
16	25.000	25.001	24.973	30	25.000	24.973



# ④ トータルコストを削減

NPGT\_Sシリーズを使ったシステムの構築により、人の作業軽減による省人・省力化を可能にするだけでなく、加工と検査工程を集約することで検査装置やスペースそのものの削減や、データ管理による品質の安定化など、トータルコストの削減が実現できる商品です。

更に加工工程内で事前に不良品と判断することで無駄な機械稼働時間を削減できます。さらに、機械稼働時間の削減による二酸化炭素の排出や使用エネルギーを減らし、脱炭素社会へも寄与する商品です。

